

2023年5月29日  
東洋スチレン株式会社

## 当社製品における不適切行為について

この度、東洋スチレン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：石塚賢二郎、以下「当社」）の販売している樹脂製品の一部において、米国の第三者安全科学機関である Underwriters Laboratories Limited Liability Company（以下「UL」）の認証に関する不適切な行為（以下「本件不適切行為1」）および日本国内の電気用品安全法に関連して設けられている部品・材料登録制度（CMJ登録制度）に関して、下記の不適切な行為（以下「本件不適切行為2」）が判明いたしました。

お客様をはじめとした関係先の皆さまに対しては、多大なるご心配とご迷惑をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

「本件不適切行為1」につきましては株式会社 UL Japan に対して、「本件不適切行為2」につきましては一般財団法人電気安全環境研究所（以下「JET」）に対して、それぞれ報告をおこなっており、関係先様に対しても順次ご説明いたしますとともに、今後の対処につきまして、不適切行為の是正はもちろんのこと、当社製品の品質保証のための取組みを真摯に進めてまいります。

本件判明を受け、本日付けで筆頭株主であるデンカ株式会社にて、社外の有識者による外部調査委員会の設置が決定されており、当社は外部調査委員会の調査に全面的に協力し、徹底的な調査と原因究明および再発防止策の策定を進めてまいります。

当社は、従来より「企業倫理（コンプライアンス）」について重要視しておりましたが、この度の不適切行為を受けて、コンプライアンスの一層の強化を行い、再発の防止とともに、関係先様の信頼回復に全力で取り組んでまいります。

## 記

### 1. 不適切行為の概要

#### （1）本件不適切行為1

##### ①内容

- ・UL が定めている樹脂の難燃性能を示す UL94 の規格に対して、登録時の組成を一部変更した製品を、UL への申請を行わずに製造販売していました。
- ・UL によるフォローアップ試験の際に、指定されたロットではない難燃剤を増量した材料で燃焼試験片を作成し提出していました。

##### ②現時点で判明している対象製品

UL 認証されている「トーヨースチロール難燃」全品種（15 品種）

（グレード名：LX20、NR120C、LH20、F2C、LH30、FX2C、LF21、FP120C、F2、J2、EJ2C、NBW1601、FS100S、ES150、J5）

なお、J5 グレードについては、社内調査により難燃性能が基準を満たしていないことが判明しております。

③判明した時期

昨年、他社において同様の不適切行為の事案が公表されたことを受け、当社において同様の問題がないか社内調査を実施したところ、2022年10月に本件不適切行為1が判明致しました。

(2) 本件不適切行為2

①内容

電気製品（エアコン・冷蔵庫他）は、電気用品安全法の技術基準に適合していることを確認するためには、製品を構成する部品・材料についても試験を実施する必要があります。

これに対して、「電気製品に使用される部品・材料登録制度（CMJ登録制度）」に登録された部品・材料を使用することによって、上記試験の合理化を図ることができます。

当社は、一部製品についてこのCMJ登録を受けていますが、2019年に登録機関であるJETにより行われた検査において、ボールプレッシャー試験（電気製品に使用される材料の耐熱温度を確認する検査）で、指定されたロット以外のサンプルを提出していたことが判明致しました。

②対象製品

「トーヨースチロール難燃」1品種（グレード名：NBW1601）

③判明した時期

本件不適切行為1が確認された後、当社内で他の問題がないか確認を行う中で、2023年5月中旬に本件不適合行為2が判明致しました。

2. 最終製品への影響

現時点で、不適切行為の対象となる当社製品を使用して生産された最終製品に関して事故等の報告は受けておりませんが、最終製品の安全性や性能につきましては、今後お客様のご協力を得て調査を継続してまいります。

以上

【報道関係者からのお問い合わせ先】

管理本部 電話：03-3519-5600

【お客様からのお問い合わせ先】

営業本部 電話：東京03-3519-5602 大阪06-6221-4500